



笹巻 だーいすき！ 初夏の『ごつつお』づくり

6月10日、「家庭教育講座 しらたか初夏の『ごつつお』づくり」が健康福祉センターで開催されました。健康づくり推進員のかたがたに教えてもらいながら、お父さんやお母さんと一緒に笹巻というか汁を作りました。また、茹でている間、食育紙芝居「命をいただく」を見て、命のありがたさに感謝しました。自分で作った笹巻は格別の味。白鷹の食文化を堪能しました。



葉っぱをたくさん見つけたよ 荒砥小学校 森の学習

6月5日、ふるさと森林公園で荒砥小学校1、2年生が森の学習を行いました。渡された葉と同じ形の葉を探す「葉っぱかるた」や、選んだ樹木の子ども（稚樹）を探す「樹の親子探し」などを行いました。児童は野球のバットの材料となる木を教えてもらったり、いいにおいのする木を教えしてもらったり、笹の葉の笛で音を出したり自然の中で楽しみました。



在来野菜を知ることが地域を知ること 第2回白鷹学講座

6月17日、第2回白鷹学講座が開催され、映画「よみがえりのレシピ」の上映と、渡辺智史監督と畔藤きゅうり伝承者新野惣司さんのトークショーが行われました。畔藤きゅうりの様な在来野菜は収量も低く、作るのが大変で、後継者も少ないため無くなっていく種類もある中、伝統を絶やさぬようと奮闘する生産者の姿が、映像や新野さんの発言により伝わってきました。



香ばしくておいしい パンづくり

6月9日、東根小学校児童を対象とした「ひがしね東陽塾くるくるパンづくり」が東陽ホールで行われました。東根地区公民館の運営委員のかたと一緒に、調理器具をほとんど使わずに、ビニール袋に粉を入れて振ったり、こねて作った生地を竹の棒に巻き、炭火で焼いて作りました。焼き上がる頃にはいい香りが漂い、自分で作ったパンを食べた児童らは「おいしい」と大喜びでした。

生命をいただく、生命を育むことは、生きていく上でとても大切なことだと思えます。食物を安心・安全に食べてもらえる、食べられることは農業をすることの基本だと思えます。その基本がきちんと出来るように、農業委員として皆さんの声をお聞きしながら行政との仲立ちをしていくことに努力していきたいと思えます。どうぞよろしくしくお願いいたします。



梅津 康子
畔藤 / 農協選任

6月18日付けで山形おきたま農協の推薦により、梅津さん（畔藤）が町農業委員に選任されました。

町農業委員に梅津康子さん